◇MUZ-254746-0000-20250925◇

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2035年９月25日まで（2025年６月６日設定）
運用方針	①投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の幅広い種類の公社債等およびデリバティブ取引に係る権利等に投資を行います。 ②投資対象とする投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）については、流動性や超過収益の水準等、定量および定性評価を勘案して選定し、適宜見直しを行います。 ③指定投資信託証券の組入比率は、グローバル市場の長期見通しに関する分析や定性評価等をふまえて決定し、適宜見直しを行います。なお、グローバル市場の短期見通しを考慮し組入比率を調整することがあります。 ④投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 ⑤実質組入外貨建資産については、指定投資信託証券において為替ヘッジを行う場合があります。
主要運用対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

運用報告書（全体版）

グローバル債券・プレミアム・セレクション（ＳＭＡ）

第１期（決算日：2025年９月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「グローバル債券・プレミアム・セレクション（ＳＭＡ）」は、去る９月25日に第１期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

MUFG
三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目９番１号
ホームページ　https://www.am.mufg.jp/

当運用報告書に関するお問い合わせ先
お客さま専用フリーダイヤル　０１２０－１５１０３４
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率		
（設定日）	円	円	%	%	百万円
2025年６月６日	10,000	－	－	－	10
１期（2025年９月25日）	10,486	0	4.9	96.3	4,513

（注）設定日の基準価額は、設定時の価額です。
（注）当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
（注）設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰落率	
（設定日）	円	%	%
2025年６月６日	10,000	－	－
６月末	10,098	1.0	93.0
７月末	10,382	3.8	96.1
８月末	10,325	3.3	94.8
（期　末）			
2025年９月25日	10,486	4.9	96.3

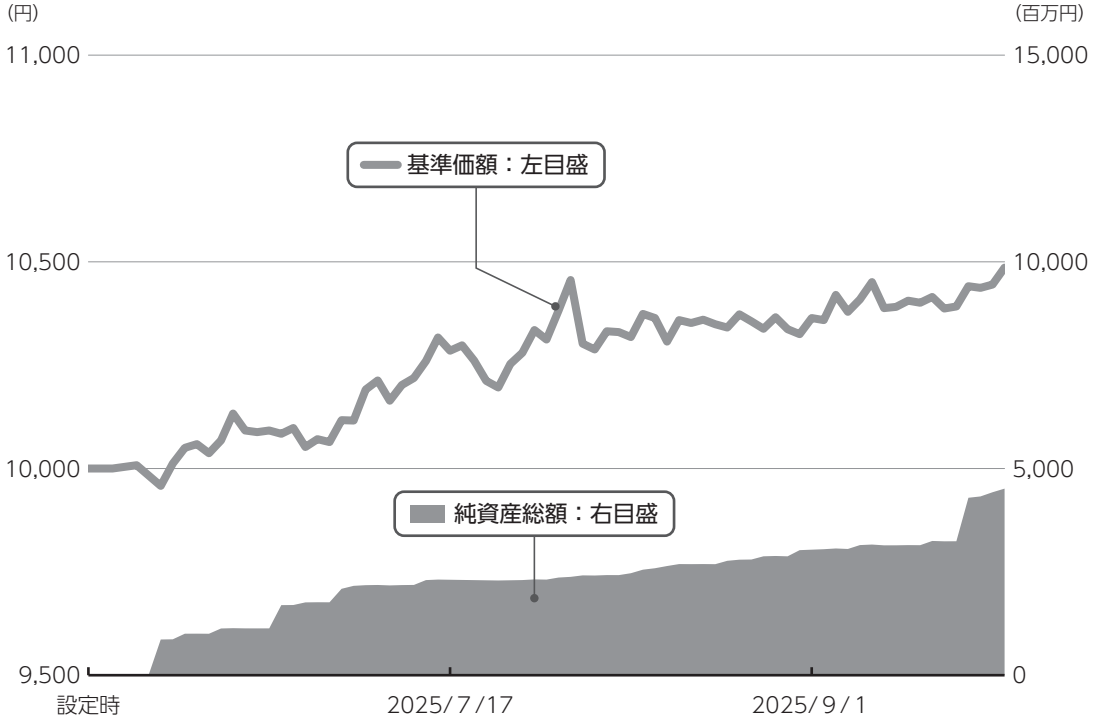
（注）設定日の基準価額は、設定時の価額です。
（注）騰落率は設定日比。

運用経過

第１期：2025年６月６日～2025年９月25日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第１期首	10,000円
第１期末	10,486円
既払分配金	0円
騰落率	4.9%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ4.9％の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

組み入れを行った投資信託証券のうち、「ピムコ 米国 ロー・デュレーション・コーポレート・ボンド ＵＣＩＴＳ ＥＴＦ」の上昇等が基準価額のプラス要因となりました。

第１期：2025年６月６日～2025年９月25日

投資環境について

【債券】

先進国の債券市況は、一部の米経済指標が市場予想を下回り、米景気減速懸念と利下げ観測が高まったことなどから上昇しました。国内債券市況は下落しました。
新興国の債券市況は上昇しました。

【為替】

為替市場では、米ドルは米国の関税政策を巡る先行き不透明感が後退したことなどを背景に対円で上昇しました。ユーロは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の幅広い種類の公社債等およびデリバティブ取引に係る権利等に投資を行いました。
投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券　投資顧問部の投資助言に基づき決定しました。
設定後に投資比率を調整し、「ピムコ 米国 ロー・デュレーション・コーポレート・ボンド ＵＣＩＴＳ ＥＴＦ」の引き上げなどを行いました。

（ご参考）

■投資信託証券別組入比率表

（%）

投資信託証券	設定時	期末
明治安田ＦＯＦｓ用日本債券アクティブ戦略ファンド（適格機関投資家専用）	－	13.0
ピムコ 欧州 ロー・デュレーション・コーポレート・ボンド ＵＣＩＴＳ ＥＴＦ	－	4.6
ピムコ 米国 ロー・デュレーション・コーポレート・ボンド ＵＣＩＴＳ ＥＴＦ	－	42.3
アライアンス・バーンスタイン ＳＩＣＡＶＩ－ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ポートフォリオ（Ｓ１クラス）（ＵＳＤ）	－	20.1
グローバルＸ 新興国債券 ＥＴＦ	－	16.3

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　目	第１期 2025年６月６日～2025年９月25日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	486

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

ファンドの運用にあたっては、三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券　投資顧問部から投資助言を受けます。投資対象とする投資信託証券については、流動性や超過収益の水準等の定量および定性評価を勘案して選定し、適宜見直しを行います。投資対象とする投資信託証券の組入比率は、グローバル市場についての三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券　投資顧問部の長期市場見通しや、定性評価等をふまえて決定し、適宜見直しを行います。なお、グローバル市場の短期見通しを考慮し組入比率を調整することがあります。

2025年６月６日～2025年９月25日

１万口当たりの費用明細

項目	当期 金額（円）	当期 比率（%）	項目の概要
(a)信託報酬	12	0.122	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(11)	(0.111)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(0)	(0.000)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.010)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	2	0.020	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（投資信託証券）	(2)	(0.020)	
(c)その他費用	0	0.002	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.001)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	14	0.144	

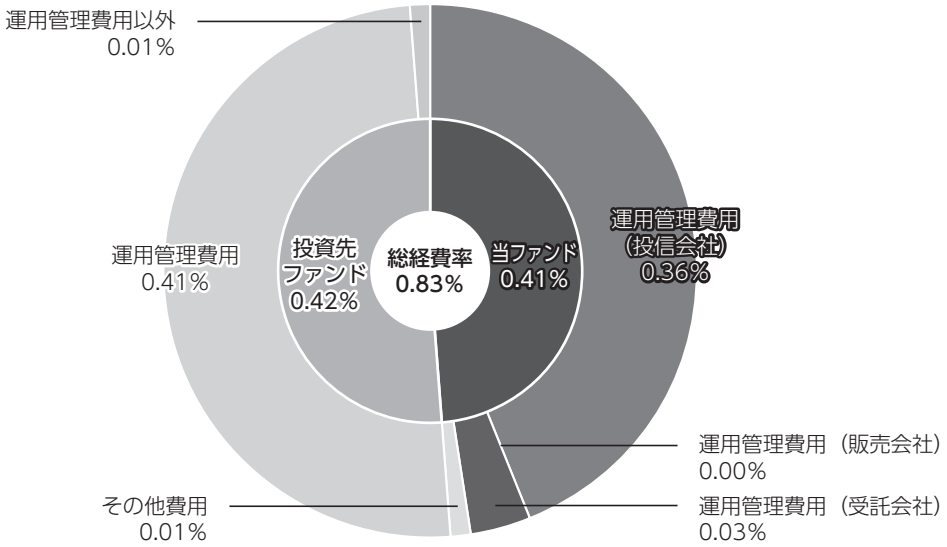
期中の平均基準価額は、10,256円です。

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
（注）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.83%**です。



総経費率（①＋②＋③）	（%）	0.83
①当ファンドの費用の比率	（%）	0.41
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	（%）	0.41
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	（%）	0.01

（注）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）投資先ファンドの費用の内訳は、投資先運用会社の判断に基づいたものです。
（注）②の費用は、投資先ファンドの固定報酬が含まれています。
（注）一部の投資先ファンドにおいて、借入費用、設立費用・訴訟や補償費用、顧問報酬等は含まれておりません。
（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2025年６月６日～2025年９月25日）

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	明治安田FOFs用日本債券アクティブ戦略ファンド(適格機関投資家専用)	千口 754,668	千円 685,130	千口 106,165	千円 96,950
外国	アメリカ		千アメリカドル		千アメリカドル
	AB SICAV I-SHR DUR H/Y-S1	231	6,573	19	555
	GLOBAL X EMERGING MARKETS BD	207	4,863	－	－
	PIMCO US LOW DUR CORP BONDS	125	12,862	－	－
	小計	564	24,299	19	555
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	アイルランド				
	PIMCO EUR LOW DUR CORP BOND	16	1,721	5	523
	小計	16	1,721	5	523
	ユーロ計	16	1,721	5	523

（注）金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

（2025年６月６日～2025年９月25日）

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	4,562	685	15.0	269	96	35.7
為替直物取引	3,762	2,396	63.7	87	－	－

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪ銀行、三菱ＵＦＪ信託銀行、モルガン・スタンレーＭＵＦＧ証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2025年６月６日～2025年９月25日）

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
10	－	10	－	当初設定時における取得とその処分

○組入資産の明細

（2025年９月25日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
明治安田FOFs用日本債券アクティブ戦略ファンド（適格機関投資家専用）	648,503	584,690	13.0
合計	648,503	584,690	13.0

（注）比率はグローバル債券・プレミアム・セレクション（ＳＭＡ）の純資産総額に対する比率。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄	当期末			
	口数	評価額		比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）	千口	千アメリカドル	千円	%
AB SICAV I-SHR DUR H/Y-S1	211	6,111	909,261	20.1
GLOBAL X EMERGING MARKETS BD	207	4,942	735,306	16.3
PIMCO US LOW DUR CORP BONDS	125	12,834	1,909,432	42.3
小計	544	23,889	3,553,999	78.7
（ユーロ…アイルランド）		千ユーロ		
PIMCO EUR LOW DUR CORP BOND	11	1,187	207,501	4.6
ユーロ計	11	1,187	207,501	4.6
合計	556	－	3,761,501	83.3

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）比率はグローバル債券・プレミアム・セレクション（ＳＭＡ）の純資産総額に対する比率。

○投資信託財産の構成

（2025年９月25日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	584,690	12.4
投資証券	3,761,501	80.0
コール・ローン等、その他	357,632	7.6
投資信託財産総額	4,703,823	100.0

（注）期末における外貨建純資産（3,800,776千円）の投資信託財産総額（4,703,823千円）に対する比率は80.8％です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

１アメリカドル＝148.77円	１ユーロ＝174.69円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年９月25日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,703,823,399
コール・ローン等	341,247,975
投資信託受益証券(評価額)	584,690,838
投資証券(評価額)	3,761,501,660
未収配当金	16,381,259
未収利息	1,667
(B) 負債	190,053,272
未払金	187,267,722
未払信託報酬	2,765,670
その他未払費用	19,880
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	4,513,770,127
元本	4,304,391,320
次期繰越損益金	209,378,807
(D) 受益権総口数	4,304,391,320口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	10,486円

＜注記事項＞

①設定元本額　10,000,000円
　期中追加設定元本額　4,304,391,320円
　期中一部解約元本額　10,000,000円
　また、１口当たり純資産額は、期末1.0486円です。

○損益の状況 (2025年６月６日～2025年９月25日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	26,366,305
受取配当金	25,512,059
受取利息	199,502
その他収益金	654,744
(B) 有価証券売買損益	96,409,055
売買益	106,050,743
売買損	△　9,641,688
(C) 信託報酬等	△　2,820,325
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	119,955,035
(E) 追加信託差損益金	89,423,772
(配当等相当額)	(　19,465,978)
(売買損益相当額)	(　69,957,794)
(F) 計(Ｄ＋Ｅ)	209,378,807
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(Ｆ＋Ｇ)	209,378,807
追加信託差損益金	89,423,772
(配当等相当額)	(　19,465,978)
(売買損益相当額)	(　69,957,794)
分配準備積立金	119,955,035

(注) (B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)**信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (E)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項　　目	2025年６月６日～2025年９月25日
費用控除後の配当等収益額	25,760,499円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	94,194,536円
収益調整金額	89,423,772円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	209,378,807円
１万口当たり収益分配対象額	486円
１万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

＊三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）をご覧ください。

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

指定投資信託証券の名称	投資対象・方針	総経費率 （年率）	運用会社
明治安田FOFs用日本債券アクティブ戦略ファンド（適格機関投資家専用）	主として、邦貨建ての国債、政府保証債、地方債、利付金融債、社債等へ分散投資を行い、「NOMURA-BPI総合」をベンチマークとしてこれを中長期的に上回る投資成果をめざします。	0.264% （税抜0.24%） 以内	明治安田アセットマネジメント

（注）総経費率（年率）は、期間中の入手し得る直近の決算データが存在しないため、2025年４月使用開始の交付目論見書に記載している内容となります。

○投資有価証券明細表

現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、開示すべき情報はありません。

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

指定投資信託証券の名称	投資対象・方針	総経費率 （年率）	運用会社
ピムコ 欧州 ロー・デュレーション・コーポレート・ボンド ＵＣＩＴＳ ＥＴＦ	主にユーロ建ての投資適格社債等に投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアプローチにより、収益源の分散と安定的なトータルリターンの獲得をめざします。	0.49%	PIMCO ヨーロッパジー エムビーエイチ

（注）総経費率（年率）は、期間中の入手し得る直近の決算データが存在しないため、2025年４月使用開始の交付目論見書に記載している内容となります。

○投資有価証券明細表

現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、開示すべき情報はありません。

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

指定投資信託証券の名称	投資対象・方針	総経費率 （年率）	運用会社
ピムコ 米国 ロー・デュレーション・コーポレート・ボンド ＵＣＩＴＳ ＥＴＦ	主に米ドル建ての投資適格社債等に投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアプローチにより、収益源の分散と安定的なトータルリターンの獲得をめざします。	0.49%	PIMCO エルエルシー

（注）総経費率（年率）は、期間中の入手し得る直近の決算データが存在しないため、2025年４月使用開始の交付目論見書に記載している内容となります。

○投資有価証券明細表

現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、開示すべき情報はありません。

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

指定投資信託証券の名称	投資対象・方針	総経費率（年率）	運用会社
アライアンス・バーンスタイン ＳＩＣＡＶ Ｉ－ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ポートフォリオ（S1クラス）（ＵＳＤ）	新興国を含む世界各国の発行体により発行されたハイ・イールド債券を主要投資対象とし、世界のハイ・イールド債券市場全体よりも低いボラティリティを追求しながらトータルリターンを得ることで長期的なファンドの成長をめざします。	0.50% 管理会社報酬：50,000米ドルまたは日々の平均純資産総額の年率0.01%のうちいずれか低い金額	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー

（注）総経費率（年率）は、期間中の入手し得る直近の決算データが存在しないため、2025年４月使用開始の交付目論見書に記載している内容となります。

○投資有価証券明細表

現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、開示すべき情報はありません。

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

指定投資信託証券の名称	投資対象・方針	総経費率 （年率）	運用会社
グローバルＸ 新興国債券 ＥＴＦ	主に米ドル建ての新興国債券に投資します。なお、現地通貨建ての新興国債券にも投資することがあります。幅広い新興国債券へのエクスポージャーを提供することをめざします。	0.39%	グローバル Ｘ マネジメントカンパニー エルエルシー

（注）総経費率（年率）は、期間中の入手し得る直近の決算データが存在しないため、2025年４月使用開始の交付目論見書に記載している内容となります。

○投資有価証券明細表

現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、開示すべき情報はありません。